化の時」をみ 間こそ組織強 は、「拡大月

賄



北支部神東分会

め、来てくれた方には背中 ととに成功しています。 て組合員さんとの距離を縮 常日頃の訪問行動によっ

の神谷・東十条地域にある 228人、群数11群、北区

信員】神東分会は組織人数

【北・書記・高橋伸明通

分会です。

北支部で

かった方へ声かけし、 会が中心となって開いてい ていただきながらお喋りを んでも相談会」は、 6毎月賄いを出して通りか 夏はかき水、冬は汁物な 、主婦の

日曜は相談会 い出して地域に発信 東京土建を知 の対話の中で らない方が多 は、まだまだ 様々な方と

でいってねー」と気軽に声 の、ありがとう」「楽しん 定例開催している「住宅な をポンと叩き「来てくれた 毎月第4日曜日に分会で れますので、組合の紹介や 組んでいる憲法9条、原発、 ているところなの」と聞か く、「東京土建って何をし ていきます。 運動のことなども話題にし など社会的な問題に対する アスベスト、消費税のこと 者の確認や、私たちが取り 住宅デーのお誘い、未加入

もとバーベキュー休日行動

取り組み、交流を深める

合員感謝デー」という名の

ています。神東分会では「組 分会が様々な取り組みをし んなのものにするため、各

少しずつ組合員の仕事確保 の仕事は地元の職人に」と、 が入ってきており、「地域 る方しない方様々ですが、 てもらいます。住所・氏名 ・電話など記入してくださ いた方には「リフォームア この繰り返しで小さい仕事 ンケート用紙」に記入をし また、対話をしていただ

研ぎは

月21日、荒 まつりが10

三区役所前

24回荒川区 民いきいき

賢一記第

はシルバー人材センターが任

人荒川支部の4団体で、今年

川生活と健康を守る会、新婦

好天にめぐまれ、来場者も

もあって、親子連れが例年に

青記•船橋

されまし 公園で開催

た。共催団

(6)

荒川

にほくと医

狛江

防災・減災アピール 住宅まつりに100

信員】10月4日、狛江市役所 前市民ひろばにて、第2回東 **尿土建秋の住宅まつりを開催** 【狛江・書記・小田井穣通 迎えることができました。 きるか心配しましたが、その し、約1000人の来場者を 後雨があがり、予定通り開催

示を行ない、防災・減災につ

所得サポート保険の取扱開始

この度、どけん

なっています。 などでも話題に が、テレビCM 備える保障制度 時の所得減少に 働けなくなった

ます

(精神疾患は最長2年

ります)。掛金は月払いで、

毎月指定口座からの引き落

護医療保険控除の対象にな

い掛金を実現しました(介

るようになるまで、最長70

に到達するまで補償され

共済会で「所得

万円まで、最高5口加入で1カ月の補償額は1口5間)。

で安心です。

とし、毎年自動更新ですの

サポート保険」

(団体長期障害

の取扱いを開始

主婦や学生など所得が無い 族が加入対象ですが、専業 きます。組合員と同居の親

方は加入できませんのでご

書類を12月27日までに担当

代理店にご郵送ください。

手続きは支部備え付け必要

19年3月1日から。加入

制度 (補償) 開始は20

します。

労災、日常生

注意ください。

所得補償保険)

共同で、耐震診断助成の宣伝

0人

【共済会発】

精神障害が原因で仕事がで

活での病気やケガに加え、

25%の団体割引が適用さ

きなくなった場合の所得の

減少分が、仕事に復帰でき

を設けることで、非常に安 ある180日間の免責期間 れる他、総合共済の給付が

しました。

当日は朝に雨が降り開催で

狛江市のまちづくり推進課と 仕事確保の取り組みでは、

行ないました。 される自転車浄水器の実演を いては、泥水が飲み水に浄化

を実施したところ、子どもを ミニショベルカーの乗車体験 良さに驚きました。 いう家族が複数いて、反響の ター会員へ対応をお願いしま せられ、支部まちづくりセン 重機に乗せたくて来場したと した。今回初めての企画では、 当日は10件の住宅相談が寄

的も準備して試射を楽しんで 園コーナーでは女の子向けの を生かした内容を準備し、造 作教室では、職種ごとの特色 水鉄砲工作を用意し、風車の リース装飾、男の子には竹の 例年実施している子ども工

泥水が飲み水に浄化される自転車浄水器

消防署か ノエア らも高評価

れまで行なってきた被災地支 宅での工作教室開催など、こ 援を紹介。「防災フェアを震 と訴えました。 おける物資支援や仮設住

災への備えを考えるきっかけ り組み内容は、初期消火



練は、多摩西部 の評価をいただ か、福生消防署 その甲斐あって 事前に2回行な 支部の渡辺副委 の声が聞かれま き、ご近所の参 からは「完璧」 ったとのこと。 屋からの救出訓 方ができた」と くに頼もしい味 加者からは、「近 員長指導のもと

初

西多摩

防災フェアを支部会館にて開 山口支部委員長は開会あい 10月14日、西多摩支部では 要員・来賓含め157人

災への大工派遣や東日本大震 さつの中で、阪神・淡路大震

員会の後援を受けて会場近く 3000人を上回り、教育委 の小学校に案内を入れたこと り(南千住分会)、コッパト で400丁を超え、女性と子 めました。また、タイル細工 どものフラダンスも客足を止 イのコーナーでは、多くの子 なく目立ちました。 (事業所分会) やマイ箸つく 包丁研ぎは午前中長蛇の列

ど14件あり、東京土建からの 参加者は175人ありまし 水、塗装、リフォーム工事な住宅相談は新築、木工、防

どもたちが楽しみ盛り上がり

と話してくれました。 はまだ不十分」と、このよう など、初めてとは思えない充 車などの体験コーナーの他、 なアピールできる機会は重要 衣と食はすぐ対応できるが住 た工学院大学の鈴木教授は、 実ぶり。ダンボールシェルタ 耐震模型や防災食などの展示 や応急救護、煙ハウス、起震 長期に及ぶ避難生活では、 の展示・解説を行なってい

また、倒壊家